

- 対応機種: USB1.1/2.0搭載のWindows/パソコン  
※デスクトップ/ノートパソコンのどちらも可
- CPU: PentiumMMX200MHz相当以上のインテル/AMD
- 対応OS: Windows98SE/2000/XP  
※WindowsMEは動作保証外
- 必要メモリ: 8MB以上の空き領域
- ハードディスク: 2MB以上の空き領域
- パソコン側ソフトウェア: マウス操作(GUI方式)
- 大きさ: 弁当箱程度の小型サイズ

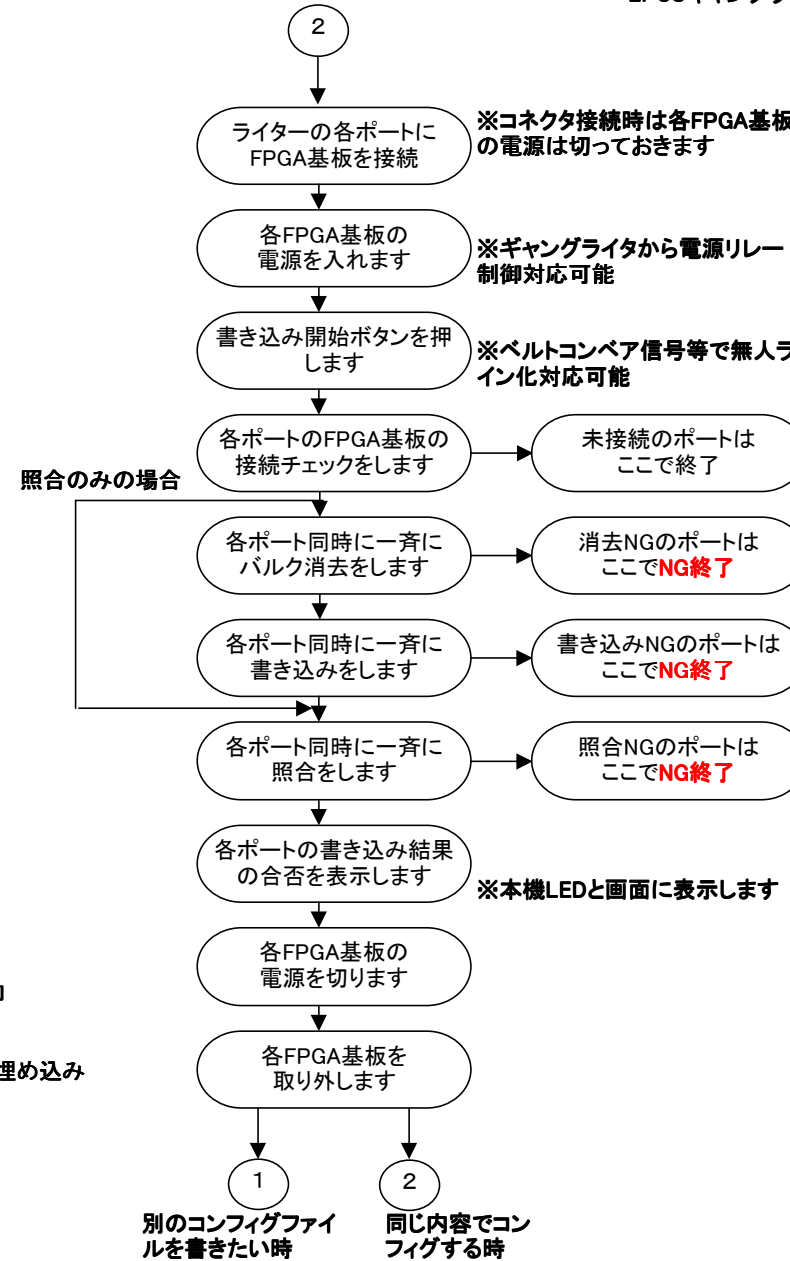
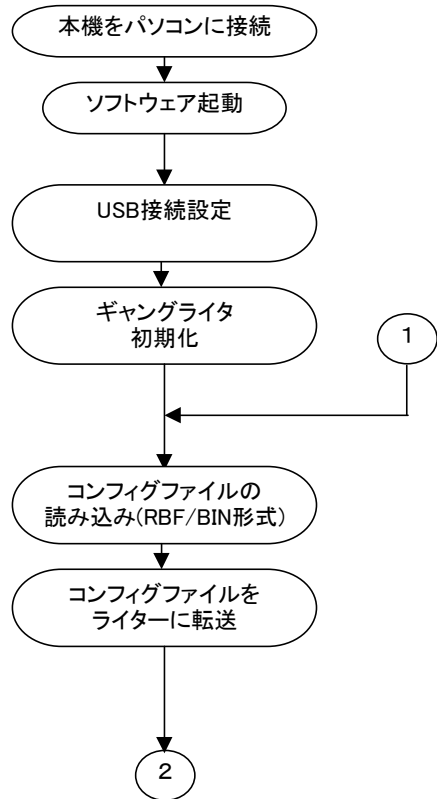
- 対応コンフィグROM: EPCS1/EPCS4 (EPCS16/EPCS64は別途対応可能)
- 対応コンフィグ回路: ALTERA社標準回路(※AS-MODE接続)  
(JTAG経由でのEPCSコンフィグの対応可能)
- 対応ファイル形式: RBF形式(非圧縮/圧縮)、バイナリ形式(任意サイズ)
- 同時コンフィグROM数: 1~最大8個  
※最大数は本機のポート数に依存

※FPGA基板との接続はAS-MODEになります。  
本機が対応しているEPCS回路は下記ALTERA社標準回路図になります。  
[http://www.altera.co.jp/literature/hb/cyc/cyc\\_c51013.pdf](http://www.altera.co.jp/literature/hb/cyc/cyc_c51013.pdf)  
Figure 14-2 Cyclone Configuration in AS Mode  
(Serial Configuration Device Programmed Using Download Cable)

※本仕様は予告無く変更される場合があります。

ネクストスタンダード  
EPCSギャングライター操作手順

EPCSギャングライター標準仕様



※本仕様は予告無く変更される場合があります。

※製造現場に合わせたカスタマイズ対応いたします。

例えば

※ギャングライターからFPGA基板の自動電源リレー制御

※ベルトコンベア信号等で無人ライン化

※バーコードリーダ等でのシリアル番号の埋め込み

※測定器の測定値等をキャリブレーションデータとして埋め込み

※工程管理用ログファイルの生成

※その他、お申し付けください

別のコンフィグファイルを書きたい時

同じ内容でコンフィグする時

Windows側 ギャング ソフトウェア

Altera EPCS Configuration ROM Gang Writer (画面は開発中のものです)

ポート設定 **PORT:7** Altera EPCS Configuration ROM Gang Writer 終了

コンフィグファイル選択 **ファイル名** test\_EP1 C3\_EPCS1 .rbf **総合計**  
TOTAL 3  
OK 2  
NG 1

コンフィグデバイス **ファイルサイズ** 0x0001 3256  
EPCS1 EPCS4

カウント  
TOTAL 1 1 1 0 0 0 0 0  
OK 0 1 1 0 0 0 0 0  
NG 1 0 0 0 0 0 0 0

PORT-1 PORT-2 PORT-3 PORT-4 PORT-5 PORT-6 PORT-7 PORT-8  
ID NG 照合中 照合中 未接続 未使用 未使用 未使用 未使用

**照合中**

ギャングライタのバージョン[EPCS GANG Ver.050505]  
ギャングライターへ転送しました。  
ギャングライタの処理を開始します。 [照合]  
ギャングライタの処理を完了しました。 [照合]  
ギャングライタの処理を開始します。 [照合]

コンフィグ開始(消去→書込→照合)

照合のみ 処理の中断

※参考処理時間

MMX233MHz Win98SE,USB1.1	EPCS1 0x20000	EPCS4 0x80000
ファイル転送	15秒	60秒
消去→書込→照合	10秒	42秒
照合のみ	6秒	22秒

Pentium3-700MHz Win2K Pro,USB1.1	EPCS1 0x20000	EPCS4 0x80000
ファイル転送	6秒	35秒
消去→書込→照合	8秒	32秒
照合のみ	4秒	16秒

※ホストパソコンの処理能力に若干依存します